

Fri. Jul 9, 2021

Track2

研究委員会報告

研究委員会報告 (I-SC)

座長:先崎 秀明 (国際医療福祉大学 / 武田病院 小児科)

座長:根本 慎太郎 (大阪医科大学 外科学講座 胸部外科学教室)

9:35 AM - 10:30 AM Track2 (Web開催会場)

[I-SC-1] J-EPOCH registry: Japanese Registry to

Encourage the Improvement of Outcome in
CHD-PAH patients

○福島 裕之^{1,2} (1.慶應義塾大学医学部小児科, 2.東京歯
科大学市川総合病院)

[I-SC-2] Aiming for Zero Deaths: Prevention of Sudden
Cardiac Death in Schools

○太田 邦雄^{1,2} (1.金沢大学医薬保健研究域 医学教育研究
センター, 2.日本小児循環器学会蘇生科学教育委員会)

[I-SC-3] 川崎病バイオマーカー研究委員会 活動報告

○吉兼 由佳子 (福岡大学医学部 小児科)

[I-SC-4] 先天性心疾患の画像・形態のデータベース化およ
びレプリカ作成に関する研究委員会報告

○白石 公 (先天性心疾患の画像・形態のデータベース化
およびレプリカ作成に関する研究委員会)

[I-SC-5] 乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に向け
た臨床研究委員会報告

○白石 公 (乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に
向けた臨床研究委員会)

研究委員会報告

研究委員会報告（I-SC）

座長:先崎 秀明（国際医療福祉大学 / 武田病院 小児科）

座長:根本 慎太郎（大阪医科大学 外科学講座 胸部外科学教室）

Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2 (Web開催会場)

[I-SC-1] J-EPOCH registry: Japanese Registry to Encourage the Improvement of Outcome in CHD-PAH patients

○福島 裕之^{1,2}（1.慶應義塾大学医学部小児科, 2.東京歯科大学市川総合病院）

[I-SC-2] Aiming for Zero Deaths: Prevention of Sudden Cardiac Death in Schools

○太田 邦雄^{1,2}（1.金沢大学医薬保健研究域 医学教育研究センター, 2.日本小児循環器学会蘇生科学教育委員会）

[I-SC-3] 川崎病バイオマーカー研究委員会 活動報告

○吉兼 由佳子（福岡大学医学部 小児科）

[I-SC-4] 先天性心疾患の画像・形態のデータベース化およびレプリカ作成に関する研究委員会報告

○白石 公（先天性心疾患の画像・形態のデータベース化およびレプリカ作成に関する研究委員会）

[I-SC-5] 乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に向けた臨床研究委員会報告

○白石 公（乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に向けた臨床研究委員会）

(Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2)

[I-SC-1] J-EPOCH registry: Japanese Registry to Encourage the Improvement of Outcome in CHD-PAH patients

○福島 裕之^{1,2} (1.慶應義塾大学医学部小児科, 2.東京歯科大学市川総合病院)

Keywords: 肺動脈性肺高血圧症, レジストリ, 小児循環器医

2017年から3年間、当学会の学術委員会に採択いただいた表記の研究の進捗を報告する。本研究の目的は、日本小児循環器学会に所属する全国の小児循環器医が力を合わせ、小児循環器診療施設に通院する、先天性心疾患を伴う肺動脈性肺高血圧症（CHD-PAH）患者を対象とした前向き症例登録観察（レジストリ）研究を本邦で初めて立ち上げ、客観的データを集積し、世界に情報を発信することである。本研究の長期的な継続と、先天性心疾患を伴う肺動脈性肺高血圧症以外の小児の肺高血圧症、さらに成人領域の肺高血圧症のレジストリ研究との協同を目指し、日本肺高血圧・肺循環学会との協議を進めた。その結果、小児循環器医の独自の視点を反映した登録症例の選択基準や集積するデータ項目を引き続き重視しながら、日本肺高血圧・肺循環学会が運用している成人を中心とした肺高血圧症第1群から5群のレジストリとの協調を強化して研究を進めることとした。その過程で、レジストリの名称を「先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究 Japanese Association of CHD-PH Registry (JACPHR)」と改めた。さらにレジストリを安定して運営するために日本医療研究開発機構（AMED）の難治性疾患実用化研究事業に応募し、令和3年度希少難治性疾患の診療に直結するエビデンス創出研究に採択された。今後は日本肺高血圧・肺循環学会理事の土井庄三郎先生に JEPOCH改め JACPHRの研究代表者になっていただき、症例の登録を始めるとともに、協力施設のリクルートも進めていただきます。当学会員の皆様には引き続きご支援をお願いいたします。またこれまで JEPOCHレジストリに参加いただき、あるいはご支援をいただいた学会員の皆様に深謝いたします。ありがとうございました。

(Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2)

[I-SC-2] Aiming for Zero Deaths: Prevention of Sudden Cardiac Death in Schools

○太田 邦雄^{1,2} (1.金沢大学医薬保健研究域 医学教育研究センター, 2.日本小児循環器学会蘇生科学教育委員会)

Keywords: 院外心停止, 心臓突然死, 学校検診

2005-09年に院外心原性心停止を来した小中学生を対象とした58例の調査研究によれば、学校管理下における心停止例は32例(55%)で学校外発症例26例に比べて運動関連が多く(84% vs 42%, $p < 0.05$)、バイスタンダー AEDがより実施され(38% vs 8%, $p < 0.05$)、社会復帰率が良好(69% vs 35%, $p < 0.05$)であった。しかし心停止発症前に診断されていた例は28例48%と半数に過ぎず、心臓検診結果との関連も詳細は不明であった。本研究は、病因、発症状況に基づく小中高校生の心原性院外心停止疫学像の解明を目的とした本学会委員会研究であり、先行研究後の環境変化に伴った変遷を明らかにしようとする病院ベースの全国調査である。心臓検診との関連を解析することで心臓検診の精度向上につなげる事も目指している。2017年から院外心停止、心臓震盪が項目に加わった小児期発症心疾患実態調査2019によれば、2019年1月1日から12月31日までの小児循環器専門医修練施設の141施設で管理した小中高校生心原性院外心停止症例は31症例（うち6例心臓震盪）であった。この2017-19年の学会データベースと2015、2016年の一次調査を加えると症例数は5年間で計152例となる。これらを対象とした二次調査を行うためのウェブ登録システムを厚労科研『市民による AED等の一次救命処置のさらなる普及と検証体制構築の促進および二次救命処置の適切な普及に向けた研究』班で構築した。学校現場での心停止発生は多くはないが、目撃者がいることが多く、講習を受けたバイスタンダーがいて、すぐそこに AEDがあることから、突然死ゼロに近づけることは可能であるし、目指さなければならない。突然死予防策の提言の基盤となる全国調査研究のデータベース構築は本学会にのみに可能かつ重要な責務である。ご協力をお願い致します。

(Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2)

[I-SC-3] 川崎病バイオマーカー研究委員会 活動報告

○吉兼 由佳子（福岡大学医学部 小児科）

(Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2)

[I-SC-4] 先天性心疾患の画像・形態のデータベース化およびレプリカ作成 に関する研究委員会報告

○白石 公（先天性心疾患の画像・形態のデータベース化およびレプリカ作成に関する研究委員会）

(Fri. Jul 9, 2021 9:35 AM - 10:30 AM Track2)

[I-SC-5] 乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に向けた臨床研究委員 会報告

○白石 公（乳児特発性僧帽弁腱索断裂の治療法の確立に向けた臨床研究委員会）